

ひろしま 住まいづくりコンクール

2018 作品集



リフォーム
部門



新築
部門



空き家再生
部門

「ひろしま住まいづくりコンクール」は、
住む人の笑顔とプロフェッショナルたちの成果を
広く伝える場所です。



主催 広島県
ひろしま住まいづくり支援ネットワーク

広島県、呉市、福山市、三次市、東広島市、廿日市市、
(独法)住宅金融支援機構中国支店、(公社)広島県建築士会、
(一社)広島県建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会中国支部、
(一社)広島県建築センター協会、広島県住宅産業三団体協議会、
(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部

後援 中国新聞社、NHK広島放送局、中国放送、
広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、国土交通省中国地方整備局

事務局 ひろしま住まいづくり支援ネットワーク
「ひろしま住まいづくりコンクール2018」事務局

(公社)広島県建築士会 事務局
〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
TEL082-244-6830(代)



INDEX

01-02  広島県知事賞
向島・干汐の平屋
濱田 昌範さん [株式会社濱田昌範建築設計事務所]

03-04  リフォーム部門 最優秀賞
酒蔵通りの古民家
栄花 彰子さん [エンロハスデザイン一級建築士事務所]

05  リフォーム部門 優秀賞
すっきり暮らす家
花井 佳代さん [株式会社ハウジングネットワーク]

06  リフォーム部門 奨励賞
二世帯住宅へ古民家再生
大賀 渡さん [有田建設]

07-08  新築部門 最優秀賞
窓の外と一体になる住まい
迫本 崇幸さん [株式会社トランスデザイン]

09  新築部門 優秀賞
因島・土生の平屋
山口 信之さん [株式会社山口建設]

10  新築部門 奨励賞
東子の家
中 俊治さん [株式会社中工務店]

11-12  空き家再生部門 最優秀賞
古き良き住まい
金堀 彰文さん [株式会社エコデザイン工房]

13  空き家再生部門 優秀賞
思い出を引き継ぐ家
川上 将司さん [株式会社橋本建設]

本作品集に掲載の1㎡当たりの工事費の目安については、次の点に注意して参考にご覧下さい。

※外構工事費は含まれていません。
※リフォーム部門・空き家再生部門の作品は工事床面積、
新築部門の作品は延床面積を基準としています。

～ ごあいさつ ～

あなたが住まいに求めるものは何でしょうか。使い勝手の良さ、心地よい肌触り、安全性、思い出の継承…など、様々な想いがあると思います。

住まいの技術革新や、中古住宅のリノベーション、空き家の増加など、時代とともに「住まい」にまつわる課題や、求められるものは変化していきますが、住み手の理想の暮らしに寄り添っていくという住まいの役割は、今後も変わることはないと思います。

ひろしま住まいづくりコンクールは、創意・工夫や技術力によって、住み手のニーズや理想に沿って住まいが抱える課題を解決し、いつまでも広島県に住みたいと思える魅力のある「住まいづくり」をどのように実現しているかを審査のポイントとしています。その過程の中に「暮らしを豊かにする」ヒントが隠されていると考えています。

今年度で9回目を迎えたこのコンクールには、34作品(リフォーム部門11作品、新築部門20作品、空き家再生部門3作品)の応募をいただき、審査委員会による厳正な審査の結果、広島県知事賞をはじめとする9点の受賞作品を選定いたしました。

このたび広島県知事賞を受賞した作品は、広島へ移住されたご夫婦のために新築された住宅で、外部へ開く空間とプライベートな空間を分けつつ、塀を作らずに縁側を設けるなど、ご夫婦と地域とのコミュニケーションを誘発する工夫が施された作品です。

また、最優秀賞には、築150年の古民家の2階を一度スケルトン状態にし、耐震や断熱改修を行い居住性を向上させ、木や漆喰により清々しい空間にリフォームした作品、プライバシーに配慮したプランとしながら、トップライトやインナーバルコニーにより、明るさと奥行きのある空間が感じられる、市街地の住宅地に新築された作品、空き家バンクに登録されていた物件を、既存の家具や建具を再利用する等、家の持つ魅力を残しながら、住み手のライフプランに合わせた住宅に再生させた作品が選ばれています。

これらの作品はいずれも住み手と創り手が一緒になって創り上げた「住まいづくり」の好事例であり、その他の受賞作品も含め、住み手の理想に寄り添った「暮らしの豊かさ」が見て取れる「住まい」をこの作品集にまとめました。

皆様にとって豊かな暮らしを実現させるための参考となり、理想の住まいづくりの一助となれば幸いです。

最後に、このコンクールに応募いただいた多くの皆様、厳正な審査をしていただいた福田委員長をはじめとする審査委員会の皆様、そして、御協力いただいた関係団体の皆様に対して、厚く御礼申し上げます。

平成31年3月

広島県都市建築技術審議官 友道 康仁



向島・干汐の平屋

尾道市



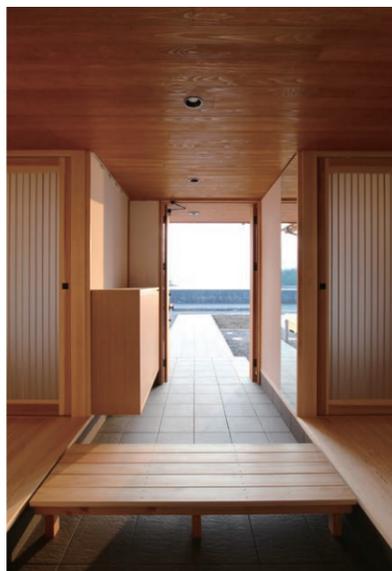
近隣にだけ込むよう平屋建ての分棟配置とし、屋根勾配も周りに合わせ馴染ませている。



LDKから和室を見る。構造をそのままあらしにした舟底天井に漆喰壁と檜の床で、落ち着いた和の空間となっている。



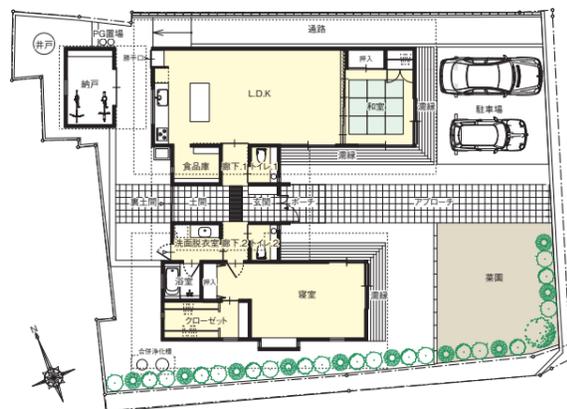
LDKから、玄関を挟んで廊下を進むと、公から私へと徐々に空間の色が移っていく。



玄関がこの家の表と裏、公と私の動線の要となっている。



寝室。出窓は外からの視線が直接入らないよう工夫している。



気軽なご近所付き合いを考慮して、塀を設けず、濡縁で日向ぼっこしながらお出迎え。



集落の中に馴染んで、品良くたたずんでいる。



軒、濡縁、格子戸、障子など、一日一年を通じ、周りの自然と仲の良い関係が築ける住まいになっている。

創意工夫点

施主が新たにこの地域にだけ込み、近隣に快く受け入れられることを念頭に、ロケーションを活かしたこの敷地ならではの住まいとなるよう心がけた。

建物は平屋建ての分棟配置とし、それぞれの棟の高低差を調整しながら近隣のスケールに合わせて一体として美しく見えるよう配慮した。平面は単純で解りやすく、玄関を基点に家の表と裏、公と私の行き来を自由に生活の幅を広げる事に努め、内外において動線の回遊性を重視した。

建築主	岡本 徹さん
設計者	濱田 昌範さん 〔株〕濱田昌範建築設計事務所 TEL(0848)2077312
施工者	角田 浩樹さん 〔ホーム様〕 TEL(084)98773555
企画 立案者	設計者と同じ

選評 審査委員長 福田 由美子

瀬戸内の豊かな自然とコミュニティに真正面から向き合った家である。新しい土地で新しいつながりを紡いでいくために、開く部分と閉じる部分が巧みに構成されている。集落と馴染むボリューム、室内からの海の景観、木材をあらわにした天井の奥行き感、おしゃべりの場となる濡縁、菜園の産物やご近所からのおすそ分けが広げられる裏土間。東京から移住してきた家族が、穏やかな島での暮らしを構築していくプロセスが見える作品である。

選評 審査委員 岩田 忠二

海と山に囲まれ、穏やかな瀬戸内海を眺めることができる敷地に建つ平屋分棟配置の建物である。LDK・和室棟と寝室棟の間に通り抜けられる土間・玄関を配し、両棟も行き来できる配置は、生活にバリエーションをもたらすゆとりある設計となっている。プライバシーを確保しながらも開放的な風の吹き抜ける高い空間を持ち、地域になじんだ住宅である。

酒蔵通りの古民家

東広島市



光が広がる明るいLDに。ダイニングの天井の高さが取れない分、リビングの小屋裏を抜いて広がり。



before

建築主	前垣 壽宏さん
設計者	栄花 彰子さん （インハウスデザイン）級建築士事務所 TEL(090)16851261
施工者	中 和也さん 〔株式会社〕 TEL(082)4233352
企画 立案者	施工者と同じ

創意工夫点

西条の酒蔵通りに面する築150年の建物。今回、周りを工場に囲まれ暗く閉鎖的で物置状態になっていたこの建物の2階を、若夫婦ご家族の棲家として改修。構造的、意匠的、温熱的に、快適な空間にと検討を重ねた。少ない開口部の中で明るく広々とした雰囲気を作る為に、木構造を整え、LDを中庭に向けて大きく開き、光が中に広がる素材、形状とするなど工夫。アクセントインテリアも一役かつて清々しい空間に蘇った。



庭を望むデッキテラスにつながる開口はフルオープンに。ここから光と風を最大限に取り込む。



格子の網戸建具にすると雰囲気が変わる。



キッチンと繋いで広々としたLD。柱補強した部分はモザイクタイルでオシャレに演出。



床の間の背面は御家族で染めた藍染和紙。ハイセンスな設えであるだけでなく良き思い出に。



LDとフラットなオープンキッチンにする為に配管経路を工夫。窓に向かうカウンターも設置。



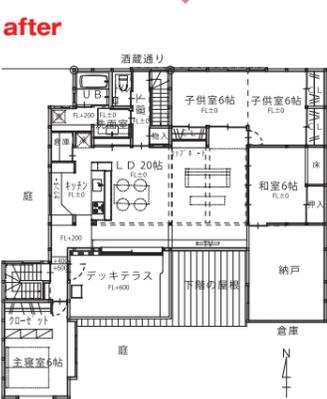
昭和期の無理な改修で崩れた架構を整え直した。大梁の下に柱を設置し耐力壁をバランスよく配置。



before



梁のみえるR天井のLD。後ろのバックボードは前からあったものをオシャレにリメイク。



選評 審査委員 佐野 泰樹
150年の歴史を刻んだ建物が次の世代に引き継がれる。外観は酒蔵通りの伝統的な景観を保ち、2階部分を若い世帯用にリフォーム。お施主様の意向を一つ丁寧に取り入れるための工夫は、まるで一粒一粒の米を大切に酒に醸かもしていくかのよう。木構造を分析した耐震補強対策や断熱補強が施され、瀬戸漆喰により室内を明るく保ち、風の通り道も確保されている。古き良き文化と匠の技術が見事に融合しており、古民家再生の一つのモデルになり得る作品。



すっきり暮らす家

広島市



ライフスタイルに合わせてLDKを広くとり、ベッドスペースまで取り込んだ。

after

before



夜寝る前にベッドに寝ころびながらTVを見たり、読書をしたりとくつろげるスペースに。



北側壁に向けてキッチンが設置されており、全体的に暗い印象だった。

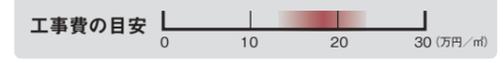
after



ご夫婦でキッチンに立ち、調理できるようにスペースを広く取り、ダブルシンクで製作。

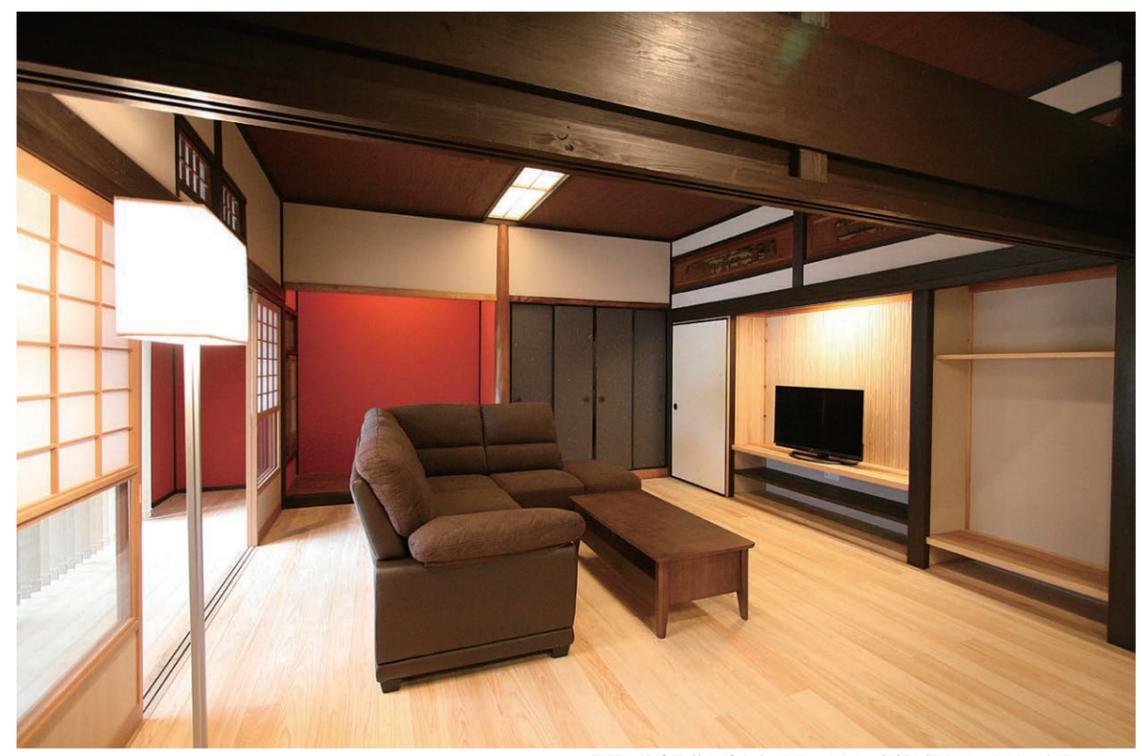


床は遮音タイプの無垢材を使用。天井はスケルトンに白く塗装した。



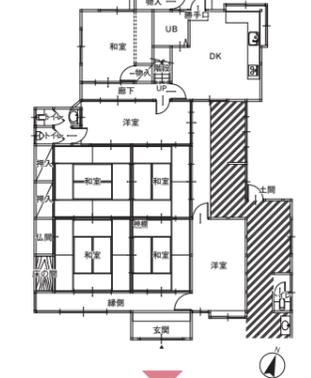
二世帯住宅へ古民家再生

東広島市



LDK。欄間や差鴨居、柱など、古くても思い出となる部材を極力活かすように表現している。

before

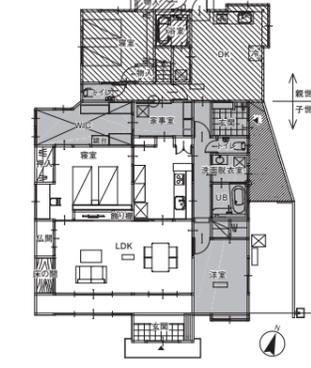


地松の式台・框・造作下駄箱を配している。



木の趣ある玄関へ再生するために、外壁のサイディングを撤去し、杉板の壁と漆喰仕上げにしている。

after



システムキッチンの周りには、配膳台兼収納を造作している。



外壁にはサイディングが貼られ、古民家の風格が失われていた。



ホテルのような落ち着いた寝室の床は、絨毯敷きとしている。ベッドの位置を想定し、ヘッドレストを造作している。

創意工夫点

築80年の古民家へ住む両親の元へ、移り住むことを決めた息子さん夫婦。しばらく使われていなかった母屋を中心に、全面的なリフォームを行い、完全分離型の二世帯の間取りに変更した。古民家ならではの趣を活かすため、欄間や差鴨居などの部材を極力残すようにし、繊細な大工工事や左官、塗装工事に時間をかけている。

単に、断熱施工や段差の解消など性能面向上だけでなく、建物の歴史を感じられる空間にすることで、次世代へ住み継がれる家となるよう配慮した。

建築主	非公表
設計者	道本聡さん 〔南道建設〕 TEL(082)2326483
施工者	大賀渡さん 〔南道建設〕 TEL(082)2326483
企画 立案者	設計者と同じ

選評

利便性の良い立地に存する長年暮らししたマンションを、ライフスタイルの変化に合わせて改修した事例である。施主のライフスタイルを十二分に把握理解したうえでの具体的な提案による施工例として、企画者・設計者・施工者の創意工夫・技術的提案力の高さがうかがい知れる。改修後の施主の「以前と同じように暮らしているのに、何しても楽しい。」との感想に表れているように、技術だけでなく総合的に優れた作品と言える。共同住宅での生活を考える方に、広く知っていただきたい事例の一つである。

創意工夫点

定年を迎えられたご夫婦が、歳を重ねていくことに億劫になっていくであろう家事を楽に、家で過ごす時間がより快適になるよう、ご夫婦のライフスタイルに合わせてLDKを広くし、さらにベッドスペースを取り込む大胆な間取りに変更。これからの老後の生活を見越した住まいづくりを意識した。以前と同じように暮らしているも、自分らしくリベリオンした事で日々の暮らしがシンプルになり、より一層暮らしを愉しまれているようだ。

建築主	非公表
設計者	谷川智明さん 浅津真吾さん 〔株式会社SWITCH〕 TEL(082)2474822
施工者	花井佳代さん 〔株式会社ハウジングネットワン〕 TEL(082)5010881
企画 立案者	施工者と同じ



キッチンも家具の一部としてデザインした。



天気を問わずトップライトから光が差し込む、明るいダイニングとなるよう設計した。



夜は人工的な光を楽しむ。



和室よりダイニングを眺める。



インターバルコニー。時間により影の出方が変わる。影を楽しむ。



古い街並みに溶け込むようグレーで配色している。



外部やリビングとつながるインターバルコニーは開放感抜群。



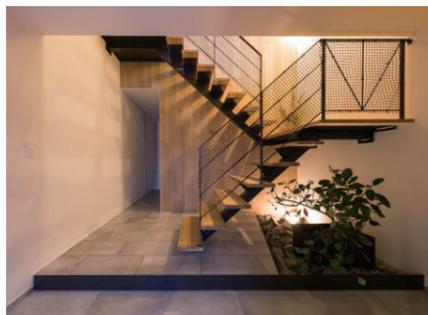
ラグをアクセントとしたリビング。



建築主	設計者	施工者	企画 立案者
迫本崇幸さん	迫本崇幸さん (株)フランスデザイン	森田 雄治さん 株式会社 スワークス	設計者と同じ
TEL(082)5095007	TEL(082)8311255		

創意工夫点

プライバシーを重視する為、生活空間を2階(リビング)とした。南西側は隣地からの視線を考慮し、閉じた空間とし、その代わりに大きなトップライト(天窗)をLDKの中心にとり、光を取り入れた。リビングに面したインターバルコニーは内・外を曖昧にし、空間に奥行きを感じさせてくれる。内装は無彩色、アースカラーを中心としたシンプルなコーディネートにした。足し算ではなく引き算の家づくりでまとめた。



階段、坪庭、板張りの驚きのある玄関に。



家の中心にあるダイニング。



階段室から見たインターバルコニー。窓が額縁となり、景色を切り取る。

選評 審査委員 山田孝延
交通量の多い県道に面した敷地に、両親の家との適度な空間的距離を確保するために、リビング、ダイニング、キッチンの生活の部分を二階に上げ、インターバルコニーを介して外部に接続する、明快でコンパクトな都市型住宅の提案である。大きなトップライトを中心に丁寧にまとめられた空間構成と、シンプルな意匠のインテリアは清々しい。屋根や基礎の断熱性、上下階の壁を揃え耐震性能の確保、歩道橋からの視線の遮断など、細かいところまで配慮され、とても居心地のよい、好感が持てる秀作である。



大きなデッキで各室を繋ぎ、自然との豊かな関係が築ける住まいとなっている。



大きなデッキはポーチにも縁側にもなって、ここでの生活の幅を広げている。



浴室もデッキと繋がり、開放感と動線の自由度を獲得している。



リビング・ダイニングからキッチンを見る。冬の日差しは、住まいの心と身体に大きな恵みとなっている。



和室。四畳半と小さいながらも、最高に居心地良い空間となっている。



小さいながらも多様な居場所ができ、日常生活の幅が大きく広がる。



建築主	太田賢三郎さん
設計者	濱田昌範さん [株式会社 濱田昌範建築設計事務所] TEL(0848)207312
施工者	山口信之さん [株式会社 山口建設] TEL(0845)272497
企画 立案者	施工者と同じ

創意工夫点

高台にある敷地の恵まれた周辺環境を活かす為、東西に長く建物を配し、開口部を大きく南に開けることで眺望と採光を取り込み、太陽の恵みを最大限活かし、人工エネルギーに頼らずに心地良い生活ができるよう配慮した。大らかに架けた屋根の下の広いデッキで各室を繋ぎ、様々な居場所を設け、小さいながらも自然を味方に、施主の日常生活の幅を大きく広げる住まいが出来た。日本社会の世帯の変化や多様化に対するひとつの答えである。

選評

審査委員 宮川裕社

道路からの一段高い地形を最大限生かし、階段を上がるとシンメトリーな平屋が迎えてくれ、さらに建物の前面には特徴的なウッドデッキが階段状に配置され、和風モダンな印象を強調している。
船底天井の中央の棟木に照明を埋め込み、広いリビングをより広く感じさせ、南面の開放的な大きな木製建具からの眺めが建物全体の価値観を高めている。



住宅の中央に配置したLDKにつながるデッキ部。大開口の木製建具を介して屋内外を一体的に利用できる。



主な内装仕上げ材は瀬戸漆喰・土佐和紙の内壁、吉野杉の天井・床板及び国産材、木製建具となっている。



生活の中心になるLDKは、建物中央に配置した。東西南北の光と風が通り抜ける。



平屋部の棟の位置にある2階廊下。階段ホールに設けたスキップフロアを書斎スペースとして利用する。そこは上下階を緩やかにつなげる空間となっている。



玄関は通り土間とし、LDK、屋外デッキ、シューズクロークへの複数の動線をシンプルにつなげている。



平屋をベースにした2階建て。リシンかき落としと杉材の良さが調和した外観。

創意工夫点

自然乾燥の良質な国産杉、地産地消の瀬戸漆喰を使用した、長期にわたる住み受け継がれる二世帯木造住宅である。親世帯と子世帯の動線が交差するリビングは、太陽光と風を十分に取込める配置となっており、そこを中心に豊かな住生活が営まれる。耐震性や断熱性能に優れた、和建築と最新の住宅性能を両立した住宅である。

建築主	非公表
設計者	中和也さん [株式会社 中和建築設計事務所] TEL(082)4233352
施工者	中俊治さん [株式会社 中工務店] TEL(082)4233352
企画 立案者	設計者と同じ

古き良き住まい

江田島市



勝手口を広くとることにより、使い勝手をよくした。

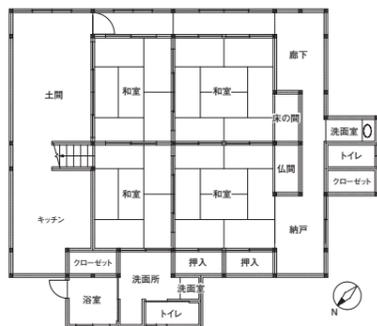


シューズクロークは直接見えないように小壁をつくり、回避できるように工夫した。



欄間を抜くことで空間の広がりをみせた。

before



床には炭化コルクを貼り、洗面脱衣室からウッドデッキ(物干)に直接行ける動線にした。

after



before

LDKの隣に和室を設け、ご両親やゲストを招く場所を確保。元々あった箆箱を収納やテレビ台などに再利用してインテリアを演出。



after

全面木製建具だったところを一部外壁とし、断熱材、断熱サッシを使って性能を上げた。



before



選評 審査委員 元廣 清志
江田島へ遊びに行った際、温暖な気候と瀬戸内の海のある環境が気に入って、空き家バンクから見つけた物件である。敷地が広く、畑で野菜を作り、休みの日には釣りを楽しみたいと移住を決定した。伝統工法による構造体を考慮し、大きく間取りを変えず、施主のライフスタイルに合うプランとしている。床、壁、サッシ等断熱性能を向上させ、既存の箆箱や収納箱を利用し室内を飾り、扉の再利用をするなど室内空間の調和を図り、外観も100年前の形を変えず、景観にも配慮して、空き家を見事に若者が活用し生活できる再生を果たした事例である。



after



元々収納だった一部を籠れる書斎とした。



屋根裏部屋(収納)に行けるゆるやかな階段。

創意工夫点
伝統工法による構造体で基本的な柱が抜けないため、間取りを工夫した。床・壁・サッシの断熱化で性能を向上させた。空き家に置いてあった箆箱を収納箱やTV台として使い、建具は金物などを工夫して間仕切りや扉として再利用した。勝手口の土間を広くとり、畑で採れた野菜などを置ける場所を確保し、キッチンまでの動線をスムーズにした。

建築主	山根 真彦さん
設計者	金堀 彰文さん [株式会社「ザイン工房」] TEL(082) 849-5668
施工者	設計者と同じ
企画 立案者	設計者と同じ

便利な情報,ご相談窓口など,住まいづくりのトータルサポート

ひろしま住まいづくり 支援ネットワーク

安心・安全の住まいづくりをめざして

建築士,住宅関連事業者,行政などの
関係団体が構成する「ひろしま住まいづくり支援ネットワーク」が
みなさんの住まいづくりをサポートします。



「ひろしま住まいづくり支援ネットワーク」とは?

県内の建築・住宅関係団体が提供する住まいづくりに関する情報を共有し,
県民が安心して適切な住まいづくりが行えるよう支援することを目的としています。

ひろしま住まいづくり支援ネットワークでは,住まいづくりに関わる
消費者への情報提供や住宅相談など,住まいづくりのサポートを行っています。

ひろしま住まいづくり支援ネットワーク (建築の専門家等)

ホームページによる情報提供

- 住まいづくりのポイント
- 高齢者のための住宅改修ポイント
- 耐震診断

<http://www.hiroshima-sumai.com>

安心できる住宅相談

- これから住まいづくりをお考えの方
- 現在工事中の方
- すでに工事が完了している方

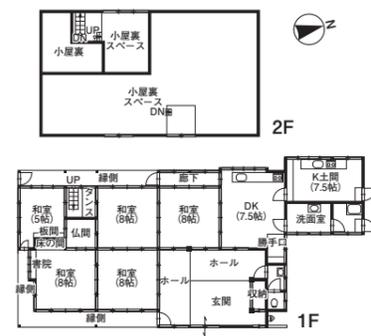


消費者
住まいづくりをサポート



昔からの外観はそのままに,傷みのあった屋根を一新。建物の傾きは元の形に建て直した。

before



高低差の大きかった玄関には,お子様でも上がれるように檜で式台を造作。元々あった一枚板も使用した。

2室を繋げて20帖のLDKに変更。小屋裏スペースも取り込んで開放的な吹抜け空間が完成した。

after



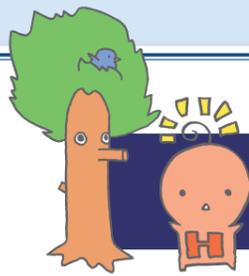
親族が集まった時,昔に帰れる場所として続き間の和室はリフレッシュしてそのまま残した。

将来的に2室に分けることもできる子ども部屋。壁の上部の小舞を残し,採光できるようにした。

選評 審査委員 豊田隆雄
建築主自身も幼少の頃生活した築100年の先祖の残してくれた家,長年の積雪により傾いた柱を立て直し,伝統工法であるため,耐震補強設計までは行われていないが念入り補強壁を設けて,断熱性能も向上させ更に長く住む意識が伺える。外観は昔のままの山村住居であるが,玄関に入ると梁を表した吹抜け空間があり,奥の居間も天井を撤去しダイナミックな和小屋を表したゆとりを感じさせる住まいである。

創意工夫点
幼少の頃の思い出が詰まった実家。空き家となっていたが,この先も長く住み継いでいきたいという思いから移住を決意。これからの生活を見据えて,リビングや水廻りなど本当に必要な範囲の利便性向上に注力し,LDKを中心とした子育て世代向けの間取りに変更。長年の積雪により傾いた構造を立て直し,細部まで念入りに補強した。また,既存の古材や建具を活かし新旧の材が入り交じった造作は,家の歴史と新しさを感じられるデザインとなった。

企画 立案者	施工者	設計者	建築主
川上 将司さん TEL(082) 878-1110	延平 司さん TEL(082) 878-1110	橋本建設(株) TEL(082) 878-1110	松本 勇生さん TEL(082) 878-1110
橋本建設(株) TEL(082) 878-1110			非公表



ひろしま住まいづくり コンクール2018 概要

趣旨・目的

住まいづくりの現場で日々生み出されている、建築主の想いや事業者の創意工夫にあふれた住まいは、これから住まいづくりをする人にも、とても参考になるものです。

このコンクールは、優れた住まいづくりを表彰し、住まいづくりの見本・参考事例として広く紹介することにより、本県の住環境のさらなる向上と住宅産業の活性化に寄与することを目的としています。

耐震や省エネルギー、本県の地域性などに配慮しつつ、建築主の求めるライフスタイルを形にした、新しい「ひろしまの住まいづくり」が発見できることを期待しています。

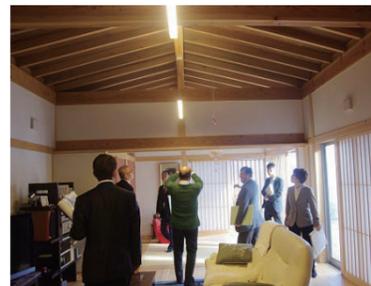
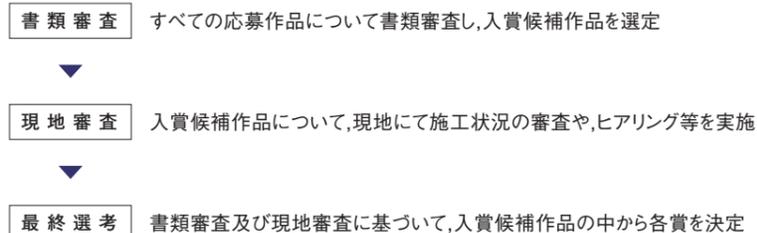
スケジュール

エントリー登録受付期間	平成30年 7月19日～9月21日	最終選考	平成30年 12月6日
作品応募受付期間	平成30年 8月 1日～9月28日	結果発表	平成31年 1月16日
書類審査	平成30年 10月18日	表彰式	平成31年 3月14日
現地審査	平成30年 11月18日,21日	受賞作品展(県内各市町)	平成31年 4月上旬から約1年間

審査委員会 (敬称略)

委員長	福田 由美子 [広島工業大学 教授]
委員	佐野 泰樹 [(独法)住宅金融支援機構中国支店 支店長]
委員	元廣 清志 [(公社)広島県建築士会 会長]
委員	豊田 隆雄 [(一社)広島県建築士事務所協会 副会長]
委員	山田 孝延 [(公社)日本建築家協会中国支部 教育・表彰委員長]
委員	岩田 忠二 [(一社)広島県建築センター協会 理事長]
委員	宮川 裕社 [広島県住宅産業三団体協議会 (一社)日本ツーバイフォー建築協会広島県支部 支部長]
委員	植木 繁之 [(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部 副支部長]
委員	宮崎 昌二 [広島県 建築技術部長]

審査の流れ



審査の観点 応募作品を次の観点から総合的に審査し、賞を選考

共通の観点

- 一般家庭で見本となる工事内容や価格で、いつでも広島県に住みたいと思える魅力ある住まいづくりを実現している。
- 設計や工事の過程で生じた困難や問題を、創意・工夫や技術力によって解決している。

リフォームの観点

- 地域の気候風土に即した省エネ性能、耐震性の向上、バリアフリー化など、それぞれの住宅に合った改修技術を用いて品質の向上を図っている。
- 住まいに対する居住者の思いへの配慮、世代や世帯構成の変化への対応、自分らしいライフスタイルの実現など、多様なニーズに対応している。

新築の観点

- 高い省エネ性、耐震性、耐久性などを備え、長期にわたって活用することが可能な良質な住宅である。
- 県産材や自然素材の利用、地域や街並みとの調和、健康で快適な居住環境の実現など、多様なニーズに対応している。

空き家再生の観点

- 地域の気候風土に即した省エネ性能、耐震性の向上、バリアフリー化など、それぞれの住宅に合った改修技術を用いて品質の向上を図っている。
- 新たな居住者が、地域の気候風土やロケーションを生かし、自分らしいライフスタイルを実現している。

応募総数 34作品(リフォーム部門11作品,新築部門20作品,空き家再生部門3作品)

表彰作品

- ◎ 広島県知事賞 1点
- ◎ リフォーム部門 最優秀賞1点 優秀賞1点 奨励賞1点
- ◎ 新築部門 最優秀賞1点 優秀賞1点 奨励賞1点
- ◎ 空き家再生部門 最優秀賞1点 優秀賞1点



コンクール応援隊は、ひろしま住まいづくりコンクール2018 を応援しています。



コンクール応援隊に関しては、広島県住宅課にお問い合わせください。